



(第1面)

## 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 6月 23日

静岡市長 難波 喬司 殿

提出者

住 所 静岡県静岡市清水区蒲原161

氏 名 日本軽金属株式会社 蒲原製造所

執行役員 所長 佐野 功和

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 054-385-2117

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和4年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本軽金属株式会社 蒲原製造所
事業場の所在地	静岡県静岡市清水区蒲原161
事業の種類	16-化学工業 23-非鉄金属製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日 から 令和5年3月31日

## 特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	350t	全処理委託量	350t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	350t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	100t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

## 電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度 前年度	172.46t 183.53t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 特別管理産業廃棄物のみならず産業廃棄物も対象とし、2019年2月より使用を開始し2019年度に70ルート、2021年度に15ルートを登録した。現在は135ルートが登録されている。		
※事務処理欄		

(日本工業規格 A列4番)



(特別管理産業廃棄物の種類: ②強酸 )

計画の実施状況

有償物量		自ら中間処理した後 再生利用した量		⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
不要物等発生量		⑧		⑫	
排出量		⑨		⑬	
①		⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量		⑭	
76.850		⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量		0	
③		①			
0					
④					
0					
⑤					
0					
⑥					
0					
⑦					
0					
⑧					
0					
⑨					
76.850					
⑩					
76.850					
⑪					
0					
⑫					
0					
⑬					
0					
⑭					
0					
⑮					
0					
⑯					
0					
⑰					
0					
⑱					
0					
⑲					
0					
⑳					
0					
㉑					
0					
㉒					
0					
㉓					
0					
㉔					
0					
㉕					
0					
㉖					
0					
㉗					
0					
㉘					
0					
㉙					
0					
㉚					
0					
㉛					
0					
㉜					
0					
㉝					
0					
㉞					
0					
㉟					
0					
㊱					
0					
㊲					
0					
㊳					
0					
㊴					
0					
㊵					
0					
㊶					
0					
㊷					
0					
㊸					
0					
㊹					
0					
㊺					
0					
㊻					
0					
㊼					
0					
㊽					
0					
㊾					
0					
㊿					
0					

項目	実績値
①排出量	76.850
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	76.850
⑪優良認定処理業者への処理委託量	76.850
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況		(特別管理産業廃棄物の種類: ③強酸(有害))	
	有微物量		
不要物等発生量			
	排出量		
	①	0.775	
	自ら直接再生利用した量		
	②	0	
	自ら直接埋立処分した量		
	③	0	
	自ら中間処理した量		
	④	0	
	④のうち熱回収を行った量		
	⑤	0	
	③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		
	⑥	0	
	⑦自ら中間処理により減量した量		
	⑦	0	
	③+④+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		
	⑧	0	
	⑧のうち再生利用した量		
	⑧	0	
	⑧のうち中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		
	⑨	0	
	⑨のうち中間処理した後の直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		
	⑩	0.775	
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		
	⑪	0.775	
	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	⑫	0	
	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		
	⑬	0	
	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	⑭	0	

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： ④強化アルカリ )

有償物量

不要物等発生量

①排出量

97.980

②自ら直接再生利用した量

0

③自ら直接埋立処分した量

0

④自ら中間処理した量

0

⑤④のうち熱回収を行った量

0

⑥自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦自ら中間処理により減量した量

0

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

97.980

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

97.980

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量

0

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

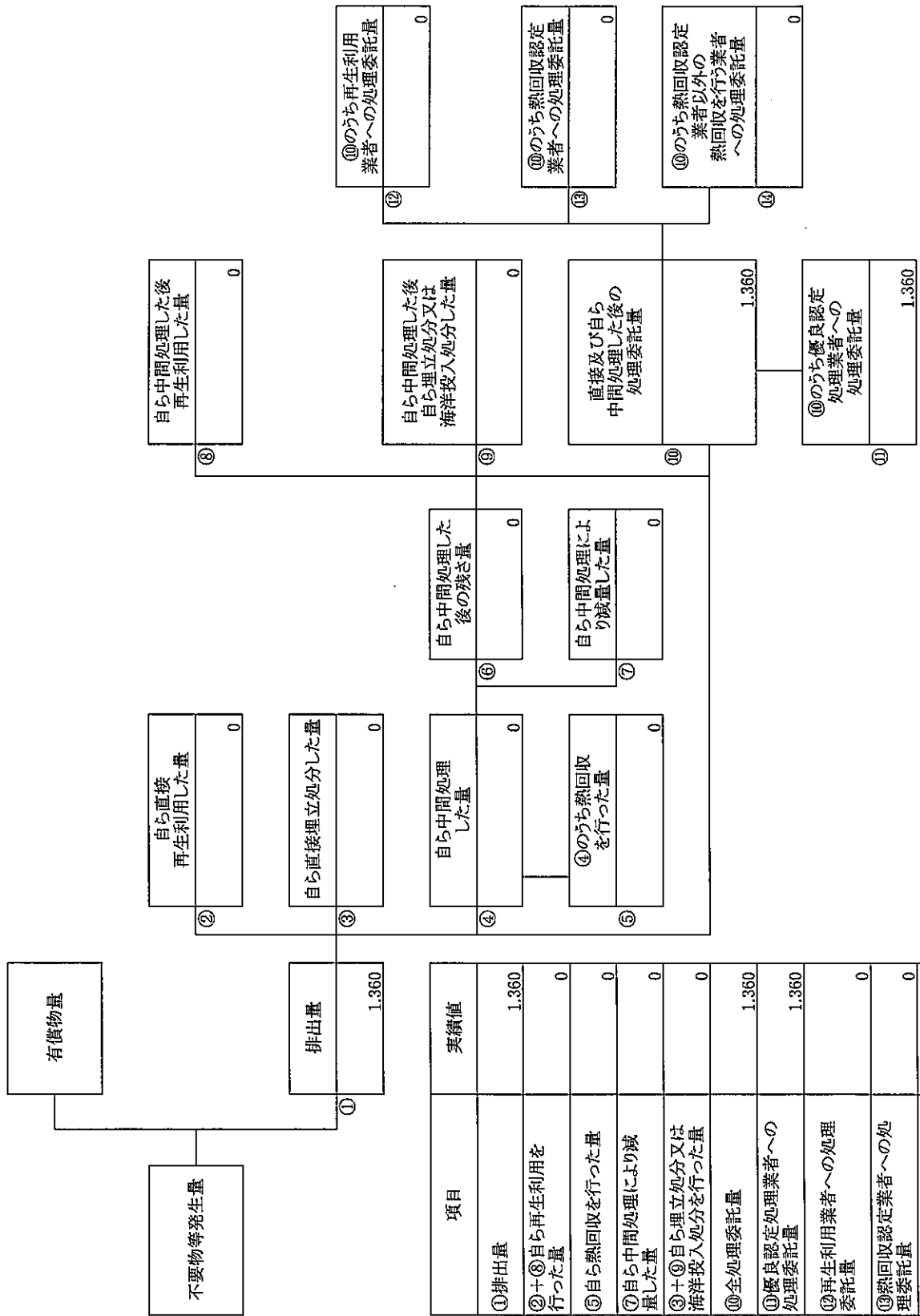
0

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の業者熱回収を行う業者への処理委託量

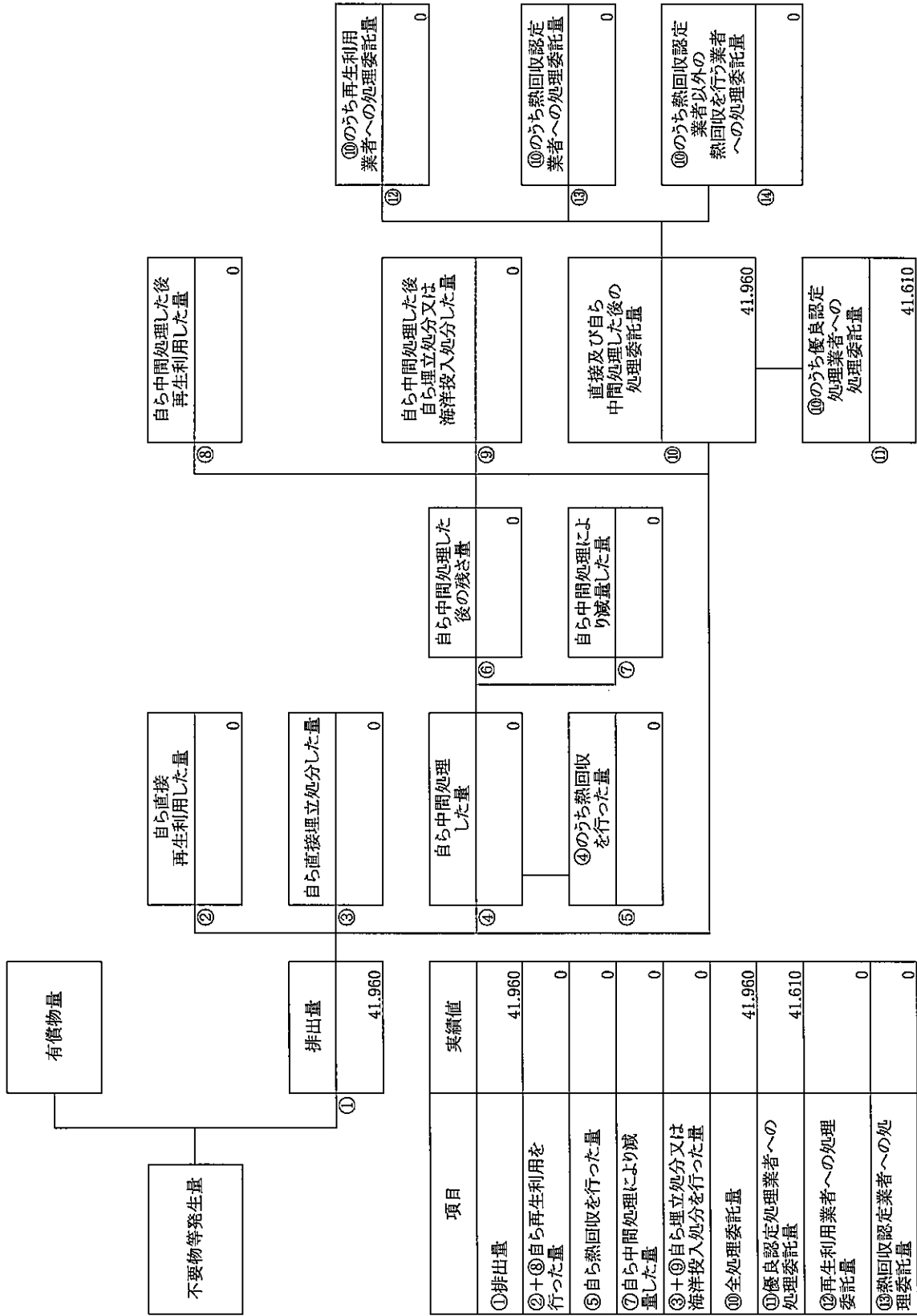
0

項目	実績値
①排出量	97.980
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	97.980
⑪優良認定処理業者への処理委託量	97.980
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の業者熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: ⑤強酸・廃プラ・金属くず)



計画の実施状況 (特別管理産業廃棄物の種類: ⑦PCB等 )



項目	実績値
①排出量	41.960
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	41.960
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.610
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: ⑨汚泥(有害) )

有償物量

不要物等発生量

①

排出量

6.563

②

自ら直接再生利用した量

0

③

自ら直接埋立処分した量

0

④

自ら中間処理した量

0

⑤

④のうち熱回収を行った量

0

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

0

⑦

自ら中間処理による減量した量

0

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

6.563

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

6.563

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

0

⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

0

⑭

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0

項目	実績値
①排出量	6.563
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6.563
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.563
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。



特 別 管 理 産 業 虎 案 物 処 理 計 画 史 施 状 況 報 告 書 の し 別 紙 (一)

注 記	名 称	担当部署	担当姓名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別教育施設関係業務と担当する事業課と総務課に設置する文書室の担当	特別教育施設関係業務と担当する事業課と総務課に設置する文書室の担当	特別教育施設関係の各団体	関係担当者の方へ	関係担当部署の電話番号	関係担当部署のFAX	関係担当部署の電子メールアドレス
群馬県庁霞水校区調原161	日本社会保険労務士会連合会	環境管理室	竹村 悦	054-385-2117	054-385-2110	ccoc-054@nabackale

[illegible]